

令和5年度 第2回 笠井小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月19日（木）14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 笠井小学校 2F パソコン室
- 3 出席委員 森下律子、市川規子、遠藤義継、石神好洋、  
佐藤剛、寺田達弘
- 4 欠席委員 松本久和、高林直子
- 5 オブザーバー 高林修（市議会議員）、鈴木真人（市議会議員）、  
小林剛（笠井協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 石野裕子
- 7 学校 伊藤美香（校長）、杉山貴和（教頭）、  
小木大輔（教務主任）、氏原志穂（CS ディレクター）
- 8 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 氏原志穂

11 議長の選出

司会から、事前選出において、松本会長より市川委員に御推挙いただいた旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) クラブ見学について
- (2) ICT の活用について

13 会議記録

司会の杉山（教頭）から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会杉山（教頭）から市川委員へ交代

委員の皆さんには、地域の方が参加してくださっているクラブ参観後 ICT（タブレット）を活用して、ジャムボードにてクラブ参観の感想を記入して、熟議していただいた。

(1) クラブ見学について

・クラブ活動により、普段とは違ったさまざまな活動ができて、子供たちが楽しんでいる姿が印象的だった。クラブ活動で興味を持った事を今後

に生かしてくれるとうれしい。 (森下委員)

・クラブ活動は、年に2回の1回60分間の中で、地域の方々は子供たちが楽しめるように工夫して活動を考えてくださっていると感じた。

(市川委員)

・子供たちが興味のあるクラブ活動を自分で選び、4、5、6年生の異年齢で男女が一緒にできるため、友達の幅を広げる良い機会になると感じた。

(遠藤委員・石神委員・寺田委員)

・子供たちも地域の皆さんもクラブ活動を通して生き生きしている姿が見られた。

(石神委員・寺田委員)

## (2) ICTの活用について

・子供はタブレットにローマ字打ちできるのか。 (佐藤委員)

→学年の発達段階に応じてICT(タブレット)の活用している。板書するのが苦手な子供や、手を上げて発表するのが苦手な子供でも、積極的に参加できる。また、多くの子供の意見や、感想を聞いたり、まとめたりして共有する事できる。

→自主的な学びにも活用できている。紙の時が良い場合や、タブレットの方が良い場合、使い分けて使用している。

・デメリットはあるか。 (遠藤委員)

→タイピングが苦手な子供もいる。意見があってもタイピングスキルは教諭が配慮する必要がある。タブレットのアプリの中にはタイピングソフトが入っているので、練習もできる。

→メディアリテラシーが大切。人に嫌な思いをさせる事や、情報モラルに反する事などその都度なぜいけないかをやりとりしながら教えている。

・ICT活用はこれからの時代必要だと思う。しかし、人と人がつながり、コミュニケーションも今後も大切にしていってほしい。

(石神委員)

## 14 連絡事項

司会から、次回は2月22日(木)9時30分~11時00分に第3回学校運営協議会を開催する旨の報告があった。